

南水研発リカレント教育プログラム

愛媛大学水産人材育成講座

－ 基礎編・水産学概論 －

2025 年度受講者募集要項

愛媛大学南予水産研究センター

1. プログラムの目的

愛媛県は、全国第3位の漁業・養殖業産出額を誇る水産県であり、水産業は南予地域の基幹産業として、地域経済に大きく貢献しています。しかし、近年、我が国では水産資源の減少による漁獲量の長期的な減少、漁業就業者の減少・高齢化、水産物消費の減少と魚離れ、魚価の低迷など、水産業を取り巻く状況は一段と厳しく、地域経済への影響が懸念されています。一方、海外では水産物の消費が増大し、世界の水産物貿易も増加するなど、水産業はこれからの成長産業として注目されています。

このような国内外の状況を踏まえると、我が国の水産業にイノベーションを起こせるような人材の育成と、それらの人材を通じた地域創生が求められるところであり、本県における水産業の重要性に鑑み、さらに社会人の学び直しニーズにも応えられるよう、改めて水産学を学ぶ講座を開設します。

2. 募集人数

30名程度

※ 募集人数を大幅に超えて応募があった場合は、抽選によって受講者を決定させていただきます。

3. 受講資格

漁業者、水産業者、漁協等職員、自治体等職員

商工業者、農林業者、農協等職員、金融関係者、高校生

その他、水産の資源活用、地域振興、産業創出等について学ぶ意欲のある者

※ 水産企業や団体の新入社員等の従業員育成にもご活用ください。

※ 水産業に興味のある高校生の高大接続にもご活用ください。

※ 講義には、愛媛大学社会共創学部の学生が参加することもあります。

4. プログラムの内容

(1) 講座の構成

「愛媛大学水産人材育成講座」は、毎年度後半に開催する「基礎編」と毎年度前半に開催する「応用編」によって構成されています。「基礎編」は、水産学のほぼ全分野にわたる基礎的内容で、毎年ほぼ同じ講義を行います。「応用編」では、宇和海の水産業にイノベーションを起こすこと、水産業を中心として地域を活性化すること、などを考える講座を、毎年内容を一部更新しながら開催します。

今回は「基礎編」の募集ですので、昨年度開講の基礎編とほぼ同じ内容です。

(2) 講座内容とスケジュール（予定）

- ・ 講座は、令和7年10月から令和8年2月の5か月間、毎月1回、第3土曜日に開催します。（※1月は大学入学共通テストのため、第4土曜日に開催します。）
- ・ 講義は1コマ90分で、1回の講座あたり3コマ、計5回の講座で15コマを行います。（※大学での2単位に相当します。）
- ・ 毎月の講座内容とスケジュールは、別表のとおりです。

(3) 講座の開催方法

- ・ 講義は、愛媛大学南予水産研究センター船越ステーション（愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1）での対面形式と、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用する非対面形式とのハイブリッド形式で行います。なお、都合により、講師がオンラインで参加する場合があります。
- ・ リアルタイムでの参加のほか、講義を収録した動画を YouTube チャンネルにて約 1 か月間、受講者に限定配信しますので、都合に合わせた受講が可能です。

(4) 修了要件と修了証明

- ・ 講義の 7 割以上の出席（11 コマ以上）と、受講した講義のレポートの提出で修了を認定し、「修了証」を発行します。
- ・ なお、出席確認は、レポートの提出をもって行いますので、講義を受講した場合は必ずレポートを提出してください。

5. 申込手続

講座の受講を希望される方は、下記により申込を行ってください。

(1) 申込期間

2025 年 8 月 4 日（月）から 9 月 8 日（月）まで

(2) 申込書類

「受講申込書」（別紙様式）に記入のうえ、以下のとおり提出してください。

※ 以下のサイトから、受講申込書をダウンロードすることもできます。

URL : <https://ccr.ehime-u.ac.jp/cnf/news/nansuiken-seminar-kiso-2025/>

(3) 申込方法

- ・ 申込方法は、郵送のみとし、期間内に配達されたもの及び 9 月 9 日（火）以降に配達されたもののうち、9 月 8 日（月）以前の消印があるものを受け付けます。
- ・ 直接持参しても受理できませんので、ご注意ください。

(4) 提出先

《 郵 送 》 〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1
愛媛大学南予水産研究センター 事務室（電話 0895-82-1022）
《 F A X 》 0 8 9 5 - 8 2 - 1 0 2 6

(5) 注意事項

- ① 申込書類の記入にあたっては、誤りのないよう正確に記入してください。
- ② 申込後は、申込書類の記載内容の変更は認めません。また、申込書類は返却しません。
- ③ 申込書類に虚偽の記載があった場合は、受講許可後であっても受講の許可を取り消すことがあります。

- ④ 申込後に住所等の変更があった場合は、速やかに愛媛大学南予水産研究センター事務室へ連絡して下さい。

6. 受講手続及び受講料

申込書類受付後、受講の許可を判断し、結果を郵送で通知します。受講を許可する場合は、受講許可の通知と併せて、受講手続の書類及び受講料払込票をお送りしますので、下記のとおり受講手続を行ってください。

(1) 受講手続期間

2025年9月16日（火）から9月26日（金）まで

(2) 受講料

6,000円（高校生及びリポート受講生※は3,000円）

※リポート受講生とは、令和6年度までの水産人材育成講座を受講された方（修了の有無は問いません）をいい、令和7年度の応用編のみ受講された方は除きます。

7. 個人情報の取り扱いについて

本センターでは、提出された申込書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本センターにおける申込みの事務処理に不備等があった場合の連絡、及び受講手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、申込書の不備等があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、申込みされること及び提出した申込書に不備があることを、申込者の自宅に連絡する場合があります。

また、同個人情報は、申込者の受講後に関する業務及び調査・研究（申込み動向の調査・分析等）を行う目的をもって本センターが管理します。

他の目的での利用及び本センターの関係教職員以外への提出は行いません。

◇ 本講座に関するお問い合わせ

愛媛大学南予水産研究センター 事務室

〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1

[電話] 0895-82-1022

[FAX] 0895-82-1026

[Email] suisanc@stu.ehime-u.ac.jp

※お問い合わせの際は、なるべくメールでお願いします。

《別表》

毎月の講座内容とスケジュール（予定）

《愛媛大学水産人材育成講座 ー基礎編・水産学概論ー》	
10月18日(土)	【Ⅰ. 海と生物（基礎）】 ○ 開講挨拶 愛媛大学南予水産研究センター センター長 後藤理恵 ○ 講座の概要説明 愛媛大学南予水産研究センター ○ 生物生産環境： 海の流れと基礎生産、食物連鎖、基礎生産のメカニズム 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 武岡英隆 ○ 水産生物： 水産魚介類の分類および生理・生態 愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕 ○ 遺伝と育種： 水産資源の放流・遺伝的管理及び育種（Ⅱ.水産増養殖1） 愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕
11月15日(土)	【Ⅱ. 水産増養殖1（概論）】 ○ 水域環境保全： 富栄養化、水域汚染、赤潮（Ⅰ.海と生物） 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子 ○ 水産増殖： 水産増殖の実例 愛媛大学南予水産研究センター 教授 松原孝博 ○ 水産養殖： 養殖方式の分類および主要養殖種 愛媛大学南予水産研究センター 教授・センター長 後藤理恵
12月20日(土)	【Ⅲ. 水産増養殖2（実践）】 ○ 養殖技術： 養殖生産技術 愛媛大学南予水産研究センター 教授・センター長 後藤理恵 ○ 栄養と飼料： 養殖魚の栄養と飼料 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹 ○ 魚病： 魚病学の基礎 愛媛大学南予水産研究センター 助教 竹内久登
1月24日(土)	【Ⅳ. 利用加工・消費】 ○ 水産化学・生化学： 魚介類の生体成分 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹 ○ 水産物の利用・加工： 水産加工、冷凍・冷蔵、水産食品衛生 元愛媛県産業技術研究所 所長 水産学博士 平岡芳信 ○ 水産物の流通・販売： 水産物流通、商品開発、販売、消費、地域貢献 愛媛大学南予水産研究センター 教授 竹ノ内徳人
2月21日(土)	【Ⅴ. 水産経済・水産法規】 ○ 漁業制度と水産法規： 漁業権、漁業許可、資源管理制度、水産法規 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 金尾聡志 ○ 漁業と資源管理： 漁船漁業と資源管理の基礎 愛媛大学南予水産研究センター 教授 松原孝博 ○ 水産経済・経営： 水産政策、水産経済、水産経営 愛媛大学南予水産研究センター 教授 竹ノ内徳人

※ 都合により、講義の順番が変更される場合があります。

※ 本講座の内容は、昨年度開催の基礎編とほぼ同じです。

愛媛大学水産人材育成講座 ー基礎編・水産学概論ー
受講申込書

受付番号

※受付番号は記入しないでください。

フリガナ			生年月日	昭和・平成 年 月 日
氏 名			性 別	男 ・ 女
住所 〒				
電話番号 (自宅等)	() —	電話番号 (携帯)	() —	
Eメール				
職 歴 (書き切れない場合は別添)				
年・月	勤務先・部署名・役職等			
学 歴 (書き切れない場合は別添)				
年・月	学校名・課程名等			
申込理由				
リピート受講の有無 (有・無)	平成 年度受講 / 令和 年度受講 ※過去に受講した年度をご記入ください。 覚えていない場合は未記入でも構いません。			